

一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ

【テ - マ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 **グリーン社会の実現** その他（  
 【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 **その他（里地里山）**  
 【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / **その他（新たな官民連携）**

地域共創基盤形成事業

自治体の大規模施策と住民の小規模な活動を有機的につなぎ、持続可能な地域づくりを推進する。地域資源の発掘（ステップ1）、創造的な人材育成（ステップ2）、実践の場の提供（ステップ3）の3段階を通じて、住民主体の活動を活性化し行政との協働を深める。これにより、地域に根付いた変革と関係人口の拡大を実現する。

①提案によって解決することができる課題のイメージ

未来を創る土台は、大きな岩や石だけでは不十分である。砂利や砂が合わさってこそ、強固な地盤ができあがる。  
 多くの自治体では、社会的に意義深いビッグプロジェクトが住民に理解されず、関心を持たれにくいという課題に直面している。形式的な市民参加にとどまり、真の対話が不足しているため、せっかくの施策が地域に根付かない。また、活動人材の固定化や小規模な取り組みの孤立、創造性を発揮する場の欠如も、地域の持続的発展を阻んでいる。  
 本事業は、多様なステークホルダーの実質的な参画を促し、大規模な施策と小規模な取り組みを有機的に結びつけることで、真の協働によるまちづくりの地盤を形成する。  
 【想定する自治体】自然豊かな里山を有する地方にあり大きな事業を控える、または実施中のまち 例）三重県いなべ市 人口：44,507人（R7.1.1現在） 面積：219km<sup>2</sup>（森林面積6割）

②提案内容

ステップ1：世界観を創る「地域魅力発掘・共創プログラム」

- ・地域資源（特に人）の徹底的に掘り下げ、地域の魅力を再発見
- ・住民参加型でのプロモーション活動による当事者意識の向上
- ・自然資源の活用手法等をまち全体で考える仕組みづくり



ステップ2：人を育てる「創造型人材育成プログラム」

- ・妄想会議でポジティブなアイデアを引き出し、自由な発想を促進
- ・人材育成研修で実践的なスキルを身につけ、継続的な活動の基盤を作る
- ・行政と住民、互いの活動を理解する力を育てる



ステップ3：活躍の場づくり「実践型コミュニティ&イノベーションプログラム」

- ・実際にプロジェクトを実行し、小さな成功体験を積み重ねる
- ・学んだことを地域課題の解決に活かす実践の機会を提供
- ・参加者のクリエイティビティを最大限に発揮できる舞台の創出



昨今の自治体で行われる大規模な施設開発や制度的枠組み創出と相互補完的に機能する、小規模な自発的取り組みを数多く生み出し、レジリエントな地域社会を形成する。弊社は豊かな自然環境と、それらを生かした地域活動を得意とする。これらの知見を活かし、地域外からも親和性の高い企業・人材を徹底的に巻き込むことで関係人口を増やし、持続可能な活動へと発展させる。

● 導入条件等

【期間：3年間（予定）】

初年度・次年度：課題解決に向けてのスキーム構築、適地選定、体制づくりなど調査検討、実証実験）、3年目以降：結果を受け実装または調査継続

【コスト（見込み）】年間：1,500万円程（地域魅力発掘・共創プログラム450万円、創造型人材育成プログラム550万円、実践型コミュニティ&イノベーションプログラム500万円）

【先進性】

大規模プロジェクトと小規模活動を有機的に結合する「マルチレイヤー・アプローチ」での新しい協働体制。「世界観を創る」プロセスから始まる点も革新的で、「何をするか」ではなく「なぜするか」という根本的な問いから共通価値観を育み、断片的になりがちな活動に一貫性と方向性を生み出す。

【有効性】

- ・人材育成研修への参加者（年30人）
- ・妄想会議から具体的プロジェクト実装へと段階的に発展させた結果、地域活動への新規参加者増加（年20人）
- ・官民連携による小規模プロジェクトの実現（年2件）
- 上記により、将来的に官民連携しうる人材が増加する。

【汎用性】

「世界観を創る」→「人を育てる」→「活躍の場をつくる」という3ステップのフレームワークは、都市部から過疎地域まで様々な文脈に適用可能。特に中山間地域では、自然資源の活用と点在する取り組みのネットワーク化に効果を発揮するなど、各地域の固有性を活かした展開ができる。